

これからの教養の考え方

～①意味ある教養とするために～

ビジネス・ブレークスルー大学 教授
明治大学大学院 兼任講師
川上真史

キャスター
川名麻耶

教養が求められる2つの側面

グローバリゼーションによる、必要な知識の急速な拡大への
キャッチアップ

より広い視野、認知による判断や意思決定、創造思考の促進

リベラルアーツとは

Liberal = 変化に寛容、個人の自主性を重視、自由

Art = (技)術

自由に、自分で生きていくために必要となる、基本的、かつ実践的な技術。身に着けることで、変化や困難さ、葛藤などにも対応できるようになる。

過去のリベラルアーツ領域

文法学

算 術

修辞学

幾何学

弁証法

天文学

音 楽

教養の定義

知識

人格



知識のみを向上させても、それは「教養」とは言えない。

知っていることで「自分は偉い」と思うことも「教養」ではない。

知識を豊富にし、その知識の豊富さが、自身の人格をより安定させ、周囲からの信頼につながることが「教養」の基本。

グローバルで必要となる教養の領域

守りの
教養

歴史(自国+相手国)

宗教(世界宗教+相手国+日本の宗教)

政治(自国+相手国) など

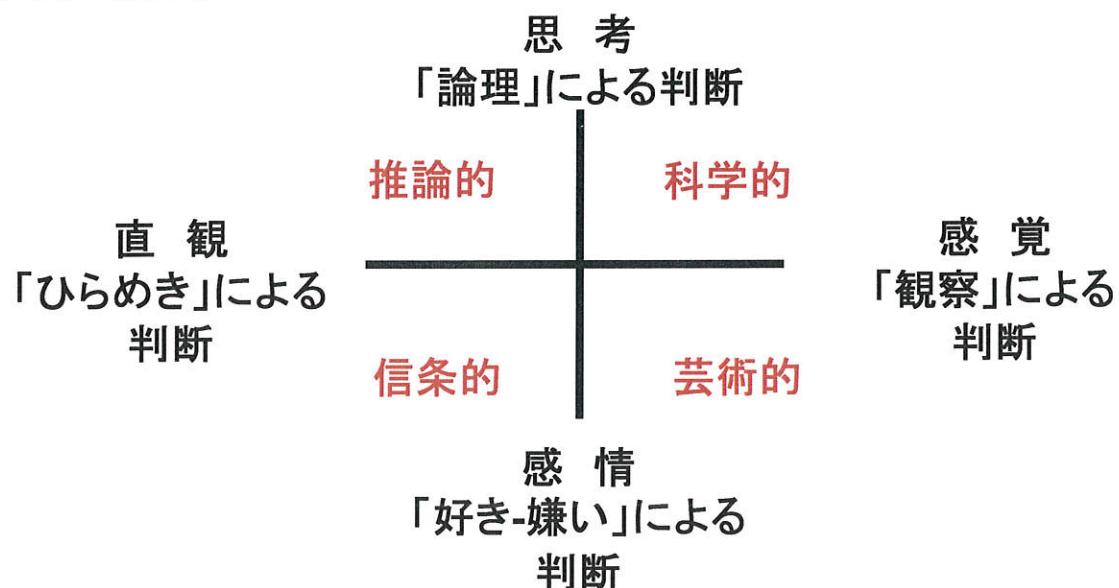
攻めの
教養

科学(自然科学、社会科学)

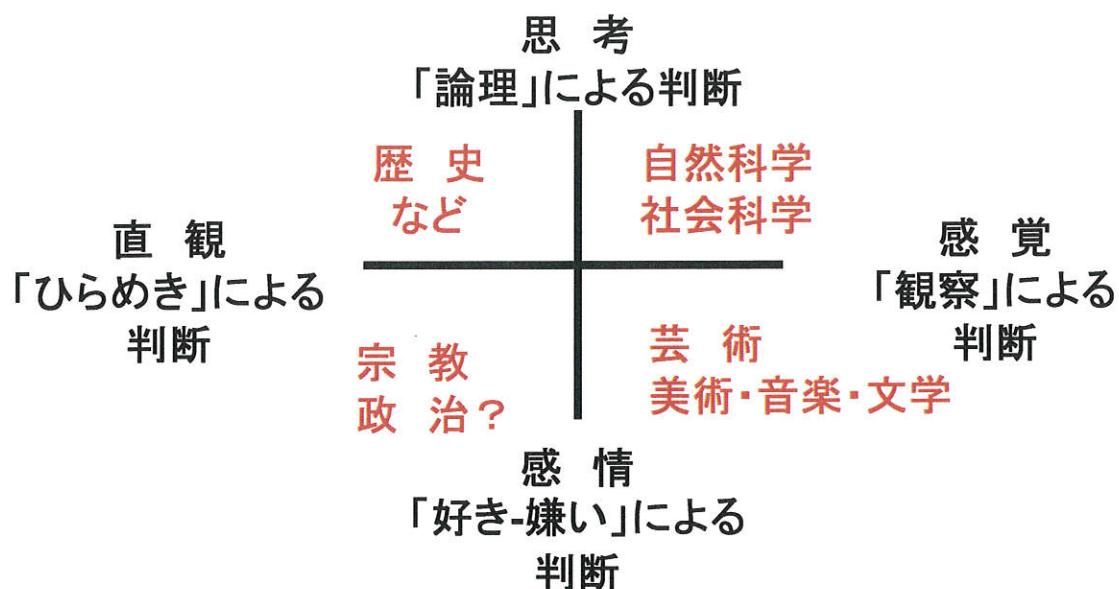
芸術(文学、美術、音楽)

スポーツ(世界に広まっているスポーツ) など

教養と創造性



守りの教養と創造性



論理的な判断

関係の正確な理解

構造化

分かりやすい整理(MECEなど)

比較による差異の特定

感情的な判断

大脳辺縁系(哺乳類の惱)が関与する判断

刺激に対する身体的反応に対する説明？

意識的感情と無意識的感情？

数十種類に分類できるが、いまだに不明点が多い

感覚的な判断

論理や感情、直観など内的な判断を一切排除

正確に事実をとらえることだけに集中

データ収集やフィールド調査なども含む

感覚器の精度に影響されることも

直観的な判断

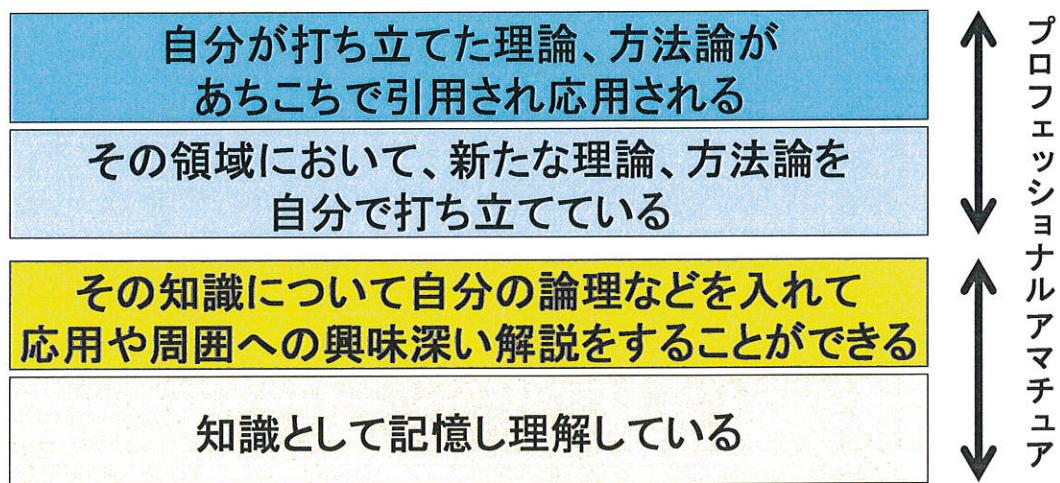
論理や感情による操作を組み込まない判断

観察による事実に影響されない

時間をかけない瞬時の判断

多分に無意識的要素が含まれる

教養に求められるレベル



教養を高めるために

